

鉄筋工事の改善

無足場工法による
工期短縮・コスト削減

横浜真栄会 躯体部会
株式会社 スチール・ワン

1.テーマ設定の背景

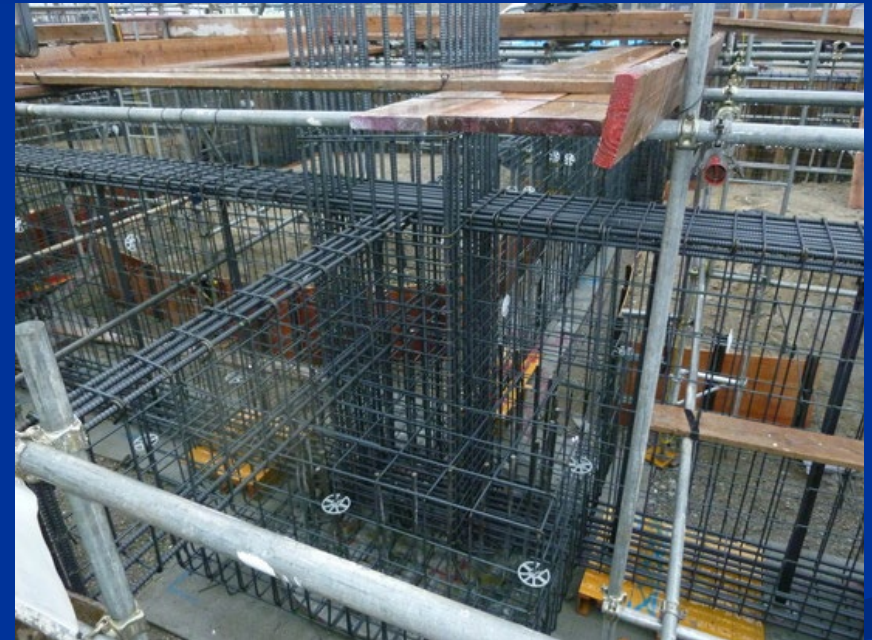
- ①地足場上の高所作業を無くす。
- ②現場での基礎躯体工事の手順を改善し
地足場の組立、解体工期の短縮を図る。
- ③足場の予算を極力削減する(コストダウン)

2. 一般的な基礎柱の配筋方法

①地足場組立工法



②やぐら組立工法



3. 改善提案

鉄筋での製作架台による基礎柱組立工法



無足場基礎柱組立



4. 改善効果の検証

① アンクル架台設置での柱配筋



検証：アンクル製作・取付にコストがかかる。
取付の工程が必要。

4. 改善効果の検証

②鉄筋架台での柱配筋(今回の提案)



検証:アングル架台より軽量。
一人での施工が出来る。
一台の製作コストが安価。
取付工程が不要。

5. 実施工における留意点

- ① 柱断面の配列によっては、鉄筋の空き間隔が確保出来ない。
- ② 柱主筋の長さが4m位になると不安定になる
ので、3.5mまでにとどめたい。
- ③ 太径(D32以上)では上部の重量とアンカー
の定着長さのバランスが取れず、転倒の恐
れがある。(アングル架台を提案)